

### 新型コロナウイルス感染拡大

申27号

安全と健康  
最優先！！

### に伴う緊急申し入れ(その3)

本部は、緊急申し入れとして申24号を2月14日、申26号を2月25日に提出していますが、早急な対策と対応について労使間における議論が必要であるにも係わらず、未だ団体交渉の日程が調整できていません。このような中において感染は更に全国へと波及し終息の目処は一向に立たず、3月1日現在における国外の感染者数は86,000人を超え、死者は約3,000人、国内ではクルーズ船を除く感染者数は254人、死者は6人となっています。

この状況に対して、WHOのテドロス事務局長は世界全体の危険性評価を最高レベルの『非常に高い』へと引き上げ危機意識を更に強めています。また、安倍首相は「あらゆる手を尽くすべきである」として、全国の小中学校や高校及び特別支援学校の一斉休校を要請するとともに、労使団体への協力として風邪の症状が見られた際の休みやすい環境の整備や子どもの休みを受けて保護者である労働者が休みやすいように配慮することなどを要請しています。

一方、深澤社長は2月27日に「社員のみなさんへ」を發出し、社員への感染症対策の実施と徹底を呼びかけると同時に、必要な物資の確保に全力を尽くしていくとの見解を示しました。現場では、お客さまに向けてテレワークや時差(オフピーク)通勤の呼びかけを徹底する反面、駅員や乗務員へのマスク着用や消毒液等の設置は行っているものの「あらゆる手を尽くす」という観点からすると、行うべき必要な対策等はまだ十分にあると言えます。

とりわけ、感染拡大のリスクを最小限に留め組合員の「安全と健康」を担保するために、本日緊急申し入れ(その3)を提出しました。

1. 駅構内及び車内における消毒等について、山手線内の駅並びに新幹線及び成田エクスプレスに限定している理由について明らかにすること。
2. 新型コロナウイルス対策マニュアル(列車内用)内の「2 車両の取扱い」に記載されている「感染の疑いのあるお客さま等が最後に車両を利用してから1日以上経過している場合は、車両の消毒は行わない」としている理由について明らかにすること。
3. 政府見解を受け対応した接客業務に従事する社員(駅員、車掌、運転士)に対するマスク着用の指示について、東京、横浜、八王子、大宮、水戸、千葉、高崎支社及び新幹線統括本部に限定している理由について明らかにすること。
4. 政府による要請に基づき、「風邪等の症状が発生した場合の休みやすい環境の整備」並びに「学校等の休校に伴う従業員への休みやすい配慮」に対する当社の考え方について明らかにしたうえで、早急に柔軟な対応等も含めた具体的な対策と措置を講じること。
5. 政府による学校等の休校並びにテレワーク及び時差通勤、更には外出自粛の要請等に踏まえ、当面の間は臨時列車及び特別急行列車の運行を中止するとともに、新幹線及び在来線普通列車における通勤時間帯の運行本数を削減すること。

要員不足で休めない、対応できないとはならない！速やかな環境整備と具体的な対策を！